

# 平成29年度 学校自己評価システムシート (県立和光高等学校)

目指す学校像 **創造する力を伸ばし、協働する元気な集団を育てる学校**

重点目標	1 意欲を育て、ひとりひとりの力をしっかりと伸ばす学習指導
	2 ルールと時間を守り、思いやる心と社会性を養う生活指導
	3 自分自身を正しく理解させ、自尊・自信を築く進路指導
	4 協働と汗を流すことを尊ぶ、活気ある学校行事と部活動の充実

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	10名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p><b>【現状】</b> 生活習慣や、基礎学力に課題を持つ生徒が多い。入学段階では学習習慣が身につけられていなかったり、勉強への興味・関心が低い生徒が多数見られるが、高校での生活が進むにつれ、学習への興味を持ち、意欲的に取り組む生徒が増えてきている。</p> <p><b>【課題】</b> 高校入学以前の段階で何らかのつまずきを抱える生徒が多い。個々の生徒の状況や学力の差も大きく、授業の進度・難度の設定に配慮を要する。 意欲の喚起につながる良好な学習経験が少ない生徒が多く、特に苦手意識の高い科目において、生徒の興味を高める工夫が必要である。 学習の準備や、学ぶ姿勢、周囲の環境の整備など、基本的な学習への取り組み方についての指導が必要な生徒がいる。</p>	授業研究を推進し、教員個々の授業力の向上がみられたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互の授業観察を推進し、意見交換を行い、授業スキルの向上に向けた校内の共助を確立する。</li> <li>教員対象の研修会、講演会等によって教職員の授業力向上を図る。</li> <li>授業評価アンケート、授業公開でのアンケートを実施し、伸展を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間相互の授業参観数の向上</li> <li>職員個々のスキルアップができたか。</li> <li>授業評価等アンケートの結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業見学週間を月間に延長し、相互の授業見学の機会を増やし、研究協議を行った。</li> <li>また、高大接続連携、特別支援教育などの職員研修を実施した。</li> <li>授業評価アンケートでは、全体の平均として約90%の生徒から肯定的な回答を得ており、実態に応じた指導が行えている。学習意欲の向上が課題。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互参観や授業力向上を現在以上に推進するための、職員の時間の確保は現在の職員配置では困難な状況がある。</li> <li>生徒の学習意欲については、単に高低を問題とするのではなく、入学段階からの状況の変化を把握できる指標が必要。</li> </ul>
		生徒の学習診断等を行い、実態を把握することで、一人一人の力を確実に伸ばせたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>二者面談・三者面談等を通じ生徒理解に努め、学習と生活の両面から一人一人に応じた指導を行う。</li> <li>授業巡回の実施や、チャイム着席など、授業に向かう姿勢を身につけさせるための、生活指導と一体化した学習指導の在り方の整備。</li> <li>学校設定科目「ベーシック」を通して、基礎学力と学習の方法を身に着け、他の教科でも、興味をもとに基礎からの学習をすすめることで「わかる楽しさ」を教える。</li> <li>補習や課題、自習室の設定等、学習に取り組む環境を整えることで、生徒の学習意欲の向上と、欠点保有者の減少を図る。</li> <li>授業評価、学校評価等のアンケートを実施し、実態を把握・分析する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価等アンケートの結果</li> <li>優良者数と欠点者数の変化</li> <li>実力診断テストなどによる学力の伸長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全体への満足度、授業内容、進度、興味関心・満足度、わかりやすさなど、生徒・保護者ともに約80～90%の肯定的な回答を得ている。</li> <li>2学期末で全体の3割が成績優良者。欠点者数は前年度比33%の減。出席状況も向上(皆勤36名増)、複数の欠点を有する生徒が減少し転退学者は半減(前年同時期比47%の減)。</li> <li>ベーシック事前事後テストで学力を把握。事後テストで学力が伸長。実力テストでは事前課題の取り組みに応じて、学力の伸長が見られる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベーシックの実施形は定着し、効果も出ている。授業アンケート等の結果からも、現在の生徒に対しては、実態に応じた学習指導が行えているといえる。入学生徒の実態は年度により大きく異なり、出席状況の向上、転退学者の減少が継続するよう、生活指導と一体化した学習指導の実践を継続して進める。そのため、授業巡回等の取り組み等、授業以外での生徒の指導時間の必要性は非常に大きい。現在の職員配置での継続は困難な状況になっている。</li> </ul>
2	<p><b>【現状】</b> 大幅な改善が見られたが、基本的生活習慣の定着に課題を抱える生徒が一定数在籍している。 問題行動の数は大幅に減少してきたが、整容指導の点で改善の余地がある。 他者と互恵的な関係を築くソーシャルスキルが不十分な生徒が一定数在籍している。</p> <p><b>【課題】</b> 学年により指導基準に差がある 自己を律する姿勢・態度の醸成 家庭との連携強化</p>	遅刻数・欠席数の減少 制服の着こなし状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻指導を継続発展させ、遅刻0になるよう指導の在り方を改善する。</li> <li>5分前行動を心がけ、チャイム着席を徹底させる。</li> <li>新設の小学校等、地域との連携を強化し、社会への貢献活動の充実を図る。</li> <li>授業開始時に整容指導を徹底し、授業に真剣に臨む姿勢を確立する。</li> <li>学年を横断した統一基準による指導の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻数・欠席数の変化</li> <li>制服の着こなし</li> <li>ボランティア活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻はゆるやかな減少傾向にあるが、遅刻を繰り返す生徒の生活習慣の改善が喫緊の課題である。</li> <li>整容は学年を横断した基準の指導を開始した。</li> <li>全体を通じて、家庭と連携を取り生徒を支えていく制度の構築が課題である。</li> </ul>	B	遅刻や整容の乱れに対する指導を徹底すると同時に、問題行動の根本原因と思われる規則的生活習慣の確立が課題である。家庭やS.C等と連携し、遅刻を繰り返す生徒を支えるネットワークを構築していく必要がある。また、生徒の学校生活の中心である授業規律の確保が重要な課題である。
		生徒会活動を通じた自主性の喚起・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動・委員会活動の活性化を図り、体育祭や文化祭などの学校行事をさらに充実させ広く地域に公開する。</li> <li>教員主導から生徒主導の行事となるよう生徒会活動を充実発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間委員会開催回数増加</li> <li>行事事後アンケートの満足度・達成感の上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員による補助の頻度が少なくなり、生徒自身による活動が見られるようになってきた。</li> <li>内容の充実もあり、体育祭、文化祭ともに来場者が増えた。</li> </ul>	B	生徒会活動について、さらなる生徒自身の自主・自律的な活動を促す工夫が必要である。
3	<p><b>【現状】</b> 体系的な進路指導を計画・実施しているが、生徒の進路希望が多岐にわたり、実態も多様である。生徒の多くは、進路に向けての活動には意欲的であるが、進路意識をもつまでに時間のかかる生徒がいる。</p> <p><b>【課題】</b> 早い段階から具体的な進路目標を見据えさせるための、段階的なキャリア教育の充実。 学力面での自信の無さが消極的な選択につながり、進路に向けての活動が遅れる生徒がいる。</p>	自信を持ち前向きに自らの人生を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な角度から適切なアドバイスと励ましの言葉を与え、前向きに向き合えるための確かな自信を植え付ける。</li> <li>面談により適切な目標を定めさせ、達成に向けて努力を継続させる。</li> <li>日常的な学習指導、生活指導により、学力・生活規範を身につける。</li> <li>資格取得の呼びかけや補習の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活に取り組む姿勢</li> <li>学校評価アンケート(進路)での満足度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の4つの柱、あいさつ・身だしなみ・言葉づかい・字を丁寧に書く、の大切さを日々の進路指導の場で伝えるようにしよく浸透できた。</li> <li>学校評価アンケートからは保護者・生徒とも進路指導に対し肯定的な評価を得ることが出来た。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の生活指導の延長線上に「4つの柱」があることを理解させ、基礎学力の向上や資格取得として学校行事や部活動に積極的に取り組む姿勢をさらに確立させたい。</li> </ul>
		早い段階での希望進路決定者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>段階的な進路に係る計画を策定し、各学年ごとで実行する。</li> <li>「自分発見! 高校生感動体験プログラム(就労体験)」を活用し、やりがい・生きがいを見出し適切な職業観を育成する。</li> <li>3学年を通じた、基礎学力測定の実施による実態の把握。</li> <li>論文や面接など、すべての教員が携わる体系的な指導を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路結果</li> <li>早い段階での進路意識の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生は昨年度と比較し早い段階での進路決定者が多かった。</li> <li>2年生は、分野別説明会・卒業生を囲む会などを実施し、意識を高め、次年度に良い形で繋がれた。</li> <li>1年生は就労体験に加え講演や体験授業を行い進路意識向上に努めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中の3年生に対する進路指導など、全職員・PTAの協力を得ながら指導に当たる。本校独自の「進路のおしり」を活用し、意識を高め第一志望実現の結果を出したい。</li> </ul>
4	<p><b>【現状】</b> 部活動加入率が停滞気味である 部活に対して消極的な考えを持っている生徒が一定数在籍している。 ホームページの閲覧者は増加しているが目標値には及ばず。</p> <p><b>【課題】</b> 生徒・職員とも部活動に対する意欲と向上心の醸成 部活動と行事の活性化に向けて新しい取り組みの創設 校外に向けての情報発信とPR活動をより工夫充実させる。</p>	部活動加入率の上昇、及び部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の部活動の活性化を図るために部員数を確保する。</li> <li>部の活動をホームページ等で紹介披露し、学校説明会や式典等の行事において学校の代表として活躍する気概を養う。</li> <li>生徒が継続的に部活動を行うことができる環境を整備する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動加入率</li> <li>ホームページの「部活動」の記事の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子バレー部、卓球部、ソフトテニス部が大会参加を久しぶりに果たすなど活性化は見られたが、加入率自体は大きな変化は見られなかった。ホームページでの紹介は大幅に増え閲覧数上昇に寄与した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生への働きかけが課題となるが、生徒会活動の充実が顕著であることから新学期に向けてその方策をしっかりと練られていくと考える。指導体制は整っている。</li> </ul>
		国際理解教育の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から始めた事業であり内外に良い影響を示した。来年度に向けてより効果的な行事となるための準備年とする。また、国際交流に関する情報を積極的に生徒に提供をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育の浸透</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>合衆国へのホームスティが実現するとともに、来日した米国人が学校を訪れ交流を深めるなど昨年来の成果が明確に現れ、国際理解教育が大きく進展した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>30年度は2回目の合衆国訪問を予定している。経験を踏まえて全体的な事業となるよう整備していく必要がある。外部機関との連携や英検への積極的な取り組みも必要。</li> </ul>
		ホームページ閲覧者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や部活動の状況をホームページに掲載し地域や卒業生に教育活動を伝え理解と支援を求める。</li> <li>一斉送信メールでの情報提供との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ閲覧1日500件</li> <li>メール配信登録数増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年との比較では20万件の増があり、遡ると14万件増・11万件増と順調に推移している。直近の一日当たり閲覧数は600人以上となり目標値を大幅に上回るものが出来た。内容も工夫を凝らし一層の充実を果たした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた作成者でなく、様々な視点からの記事が期待できる。教育活動の活性化があってこそホームページであろう。1日1000件の閲覧が目標として視野に入ってきた。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日 平成30年2月7日(水)
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>(学習指導について) 少人数学級編成や習熟度別クラスの活用により成果を上げていることと思う。先生方も授業を工夫しており素晴らしい、引き続き生徒が喜ぶ授業、生徒を伸ばす授業の実践をお願いしたい。</p> <p>学習意欲の喚起こそ学力向上の要諦と考える。小手先のテクニックではなく、生徒の勉強に取り組む姿勢を確立するための教師間研修が頻繁に実施されていることを高く評価したい。</p> <p>先生方が一人一人の生徒の実態をしっかりと把握されており、個々の対応を適切に行われているようである。学習を苦とする生徒たちが学問の楽しさを感じられるように一層の工夫を重ねていただきたい。</p> <p>学校の特色の一つである「ベーシック」という科目の重要性を確認できた。現状に甘んじることなく生徒の変化を見逃さずより良い内容の開発を期待している。</p>
<p>(生活指導について) いろいろと工夫して成果を上げているようだ。継続して指導を続けてもらいたい。</p> <p>遅刻欠席は減少傾向にあるがなかなか0にはならないようである。1週間あるいは1カ月など期間を決めてその間は遅刻者がなくなるよう強化体制を考えてはどうか。遅刻したことを叱ることよりも遅刻しなかったことを褒めてあげるような指導もあって良いのではないか。</p> <p>(学校行事について) 生徒の主体的な活動の推進は、教育活動の要であると思う。年々充実になっており今後がとても楽しみである。文化祭では、来校者に喜んでもらえるような企画が増えているようだ。</p> <p>(進路指導について) 早期に目標を抱かせることはとてもよいことだと思う。PTA、後援会としても支援したい。</p> <p>人材活用の観点からPTA内でも協力を呼びかけ、模擬面接と接遇についての講義を実施できた。PTAと進路指導部の連携が深められた。</p> <p>進学については安全(合格)を優先した学校選びをしがちだが、あえて挑戦する意識を持つことで飛躍的に実力が向上することもある。低学年のうちから激励し準備するような指導があっても良い。</p> <p>夏休み中の細やかな指導には頭が下がる。生徒達も先生方に頼るだけでなく自主性や積極性も伸びているようだ。</p> <p>(部活動について) 今年度は全国大会出場などの華々しい活躍が開けてこなかったが、応援しているので部員確保から頑張ってもらいたい。</p> <p>(国際理解教育について) 昨年度のロングビュー市への生徒派遣に続き、同市から訪問団を学校に招き、授業に参加していただいたことは特筆される。2年生2名が自主的にホームスティを行ったこともその勇気と学校の配慮に敬意を表する。</p> <p>(ホームページについて) 表紙の写真はほぼ毎日更新され、学校の様子を楽しく知ることが出来る。節目の行事ごとにわかりやすく内容を紹介していただきとてもありがたい。同窓会とPTAの項目がより充実しており、連携が良くとれていることがわかる。閲覧者数の伸びは内容の充実と比例していると思う。さらに数字が伸びることを期待している。</p>